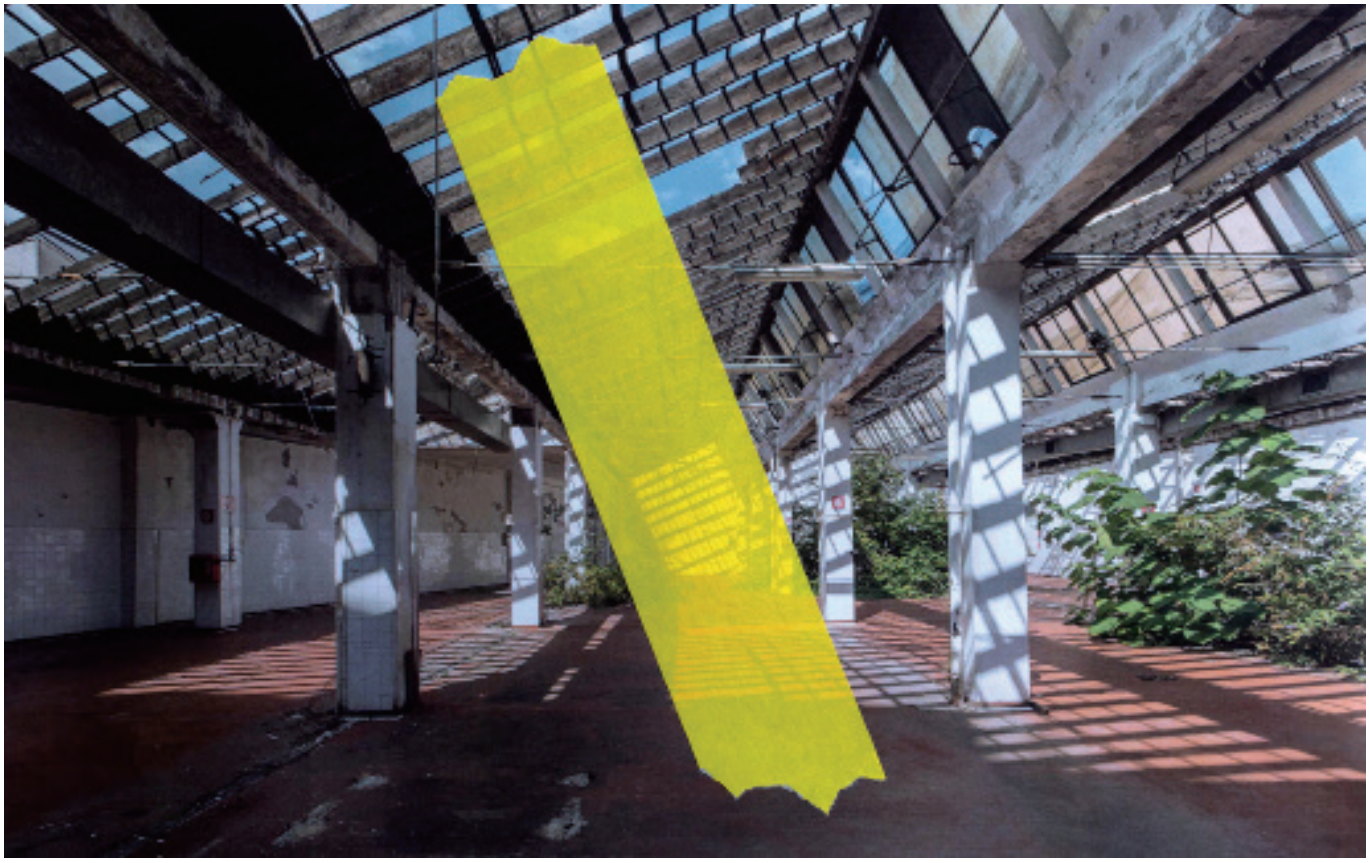
HARU
stuck-on
design;



Milan Design Week 2019

Color Appreciation

色を鑑賞する

by HARU stuck-on design; in ALCOVA

2019.04.09（tue）-04.14（sun）

株式会社ニトムズより、「色を貼る」という発想で生まれた、貼ってはがせる空間装飾テープブランド「HARU stuck-on design;」は、2019 年 4 月 9 日（火）～ 14 日（日）の期間、イタリア・ミラノで開催するミラノデザインウィークに出展いたします。

空虚な空間に真紅の絨毯を敷くと、その空間は一瞬にして、絢爛で神聖な空気に包まれるように、色は空間を彩りながら、人の心理にも影響を及ぼしていくものです。ときどきの気持ちやシチュエーションに応じて、もっと自由に色を空間に取り入れることができたなら ... そんな思いから生まれた「HARU stuck-on design;」。

４回目の出展となる今年も、クリエイティブディレクター SPREAD とともに、昨年ミラノデザインウィークの新たなスポットとして話題となった ALCOVA を会場に、「Color Appreciation- 色を鑑賞する」と題して、サイトスペシフィックなインスタレーションを実施します。本展では、ALCOVA のメインとなる 880㎡もの広さのスペースで、" 光と影 "、" 都市と自然 "、" 必然と偶然 " など色や空間の中に存在するコントラストをテープ作品で表現。極限まで発色にこだわった 48 色の「HARU stuck-on design;」だからこそ実現できるコントラストの美しさを体感いただけます。ぜひご注目くださいますようお願いいたします。

Inspiration

The contrast is beautiful

色を構成するのは、色相だけではありません。彩度や明度の違いによっても、まったく異なる印象を受けます。もっと細やかに色の世界を探訪していくと人の意識にもどんどん奥行きや深みが生まれます。色が人々に与える情報を整理し、デザインとして昇華していくことで、これまで色にまつわるクリエイティブなプロジェクトをさまざま展開してきたクリエイティブ・ユニット SPREAD。彼らが、日頃からデザインやアート作品制作をする際に、色のセレクト、構成、定着と同様に強く意識し、大切にしていることが「コントラストが美しい」ということ。

例えば、美しい海。

「青い色はもちろん素晴らしいのですが、色に心が動かされているだけではありません。光が水に当たり反射して、たくさんの光と影が現れます。「光と影」という 2 つの項目と考えがちですが、光の中の光、影の中の影、さらにその中の光や影、、、人の認識を超えた無数のコントラストが現れます。この無数の光と影のコントラストの集合が人の心を打つ景色を生み出している。だからこそ海が美しいと思うのです。」と SPREAD は話します。

本展では、彼らが " コントラスト " についてさまざまな視点から掘り下げ、分析し、会場となる ALCOVA の環境、歴史、時間など場所の記憶を取り入れ、対話を重ね作品に広げていきます。

ALCOVA/19
/SALONE/
APRIL

Space

会場は、ミラノ中央駅からほど近い ALCOVA というスペース。ミラノの伝統菓子パネットーネの工場跡地を利用し、Space Caviar と Studio Vedè が巡回文化施設の実験的な場所として開発、昨年よりミラノデザインウィークの会場に加わった注目のスペースです。本展では、ALCOVA のスペースの中にあるさまざまな相反する要素、都市と自然、光と影、必然と偶然などをコントラストを感じる場所と捉え、そこから得るインスピレーションで「HARU stuck-on design;」のテープによる作品をインストール。「HARU stuck-on design;」と ALCOVA、互いが互いを活かし合う空間を目指し、サイトスペシフィックなインスタレーション展示を行います。

株式会社ニトムズは、「HARU stuck-on design;」を通して、得意としてきたテープの機能性や利便性の追求だけでなく、また違った領域に踏み込み、人々の感情へと作用する「色を貼る」という新しい文化を世界へ提案していきたいと考えております。

ALOCOVA は、Space Caviar と Studio Vedè が巡回文化施設の実験的プロトタイプとして開発。 現在ミラノとその周辺の複数の場所にまたがるアートとデザインのプラットフォームとして活動している。都市の中で忘れられた歴史的に重要な場所を活性化するべく、一時的にそれらの場所をアートやデザインの公演活動の場として再生している。

ALCOVA VIA POPOLI UNITI 11/13 のエリアは、1940 年に建設されたミラノの伝統菓子パネットーネの工場跡地、敷地面積 3000 ㎡の中に、大小さまざまな 20 のスペースを有する。敷地内には、屋根の骨組みだけが残る壮観なスペースから、小屋のような建物、コンクリートの隙間から植物が生い茂る一角など、都市の中でさまざま要素が混在する貴重な場所。2018 年のミラノデザインウィークで展示が行なわれ会場と共に注目を集める。

https://alcova.xyz

Works

CASA GIFU（ミラノ / イタリア）2016 年
2016 年ミラノフォーリサローネでの、ブランドローンチ。CASA GIFU の会場にて、ゲストブランドとして、床、壁、天井を多彩なテープで彩った。

Travel Through Design（ミラノ／イタリア）2017 年
2017 年ミラノフォーリサローネでは、フランスの Meet My Project に参加。テープを重ねたときに、透けてみえる様子を、グラフィックとして表現。

bring color into your life（ミラノ／イタリア）2018 年
2018 年は VENTURA CENTRALE（ミラノ中央駅の高架下スペース）を会場に単独出展。洞窟壁画をインスピレーションに、光と音、言葉の演出で色の世界を探訪するサイトスペシフィックなインスタレーションを実施。

Profile

HARU stuck-on design;

haru-stuckondesign.com

HARU stuck-on design; は、株式会社ニトムズが、「色を貼る」という発想のもと、クリエイティブユニット SPREAD と共に開発した跡を残さず貼ってはがせる空間装飾テープ。工業・医療・電子材料など、多岐にわたる Nitto グループの技術が結晶し、心に響く色空間を創造する、自由なデザインツールとして 2016 年に誕生。人々の感性を刺激しながら、それぞれが思いのままに彩り、自由な空間づくりができるよう、独自の思想にもとづく 8 種類のカラーファミリーからなる豊富なカラー展開、さまざまな目的や用途、使う場所に応じて質感や粘着性を変えた 3 種類の素材と 2 種類のパターンファミリー、プロフェッショナルな用途に応える多彩なサイズ構成が特徴。

SPREAD

www.spread-web.jp

小林弘和と山田春奈によるクリエイティブ・ユニット。環境・生物・物・時間・歴史・色・文字、あらゆる記憶を取り入れ「SPREAD ＝広げる」クリエイティブを行う。「カラーとコンセプト」を特徴にグラフィック、プロダクト、エキシビションのデザイン & ディレクションに広く関わり、常に社会提案を心がける。2017 年には「国立新美術館開館 10 周年」記念ビジュアルのデザインを手掛け、主な仕事に、工場見学イベント「燕三条 工場の祭典」、空間デザインツール「HARU stuck-on design;」、コスメブランド「Celvoke」「F organics」、CD ジャケット「相対性理論／正しい相対性理論 」、ストールブランド「ITO」、「萩原精肉店」VI など。2004 年より、生活の記録をストライプ模様で表す「Life Stripe」を発表して注目を集め、スパイラルガーデン（東京、2012 年）、ミラノフォーリサローネ（イタリア、2012 年〜 2014 年）、Rappaz Museum（スイス、2014 年）、在スイス日本国大使館（スイス、2015 年）、茨城県北芸術祭（日本、2016 年）などで個展を開催。主な受賞歴に、red dot design 賞、iF design 賞、D&AD 賞、ドイツデザイン賞、Pentawards、アジアデザイン賞、グッドデザイン賞、日本パッケージデザイン大賞、読売広告大賞ほか。

Nitto Group / Nitoms

www.nitoms.com

粘着技術や塗工技術、高分子機能制御技術などの基幹技術をベースに 、シートやフィルムに様々な機能を付加し、幅広い領域で事業を展開している Nitto。その家庭用製品開発プロジェクトチームを母体として、1975 年、株式会社ニトムズ設立。Nitto グループの「感動品質」を世界のお客様に届けようと独創的な製品を産み出している。 粘着を応用した製品を展開し、日用雑貨、DIY 業界へと進出。1983 年に誕生した粘着クリーナー「コロコロ」の大ヒットで、ニトムズ・ブランドを確立。その後も、「快適・便利で独創的な製品を生み出し、人々の暮らしに貢献する」の経営理念のもと、住まいと暮らしに関わる多彩なホーム・プロダクツや医療やヘルスケア製品の開発、製造、販売を行なっている。

Event Outline

タイトル：　Color Appreciation by HARU stuck-on design;

会期：　2019 年 4 月 9 日（火）〜 14 日（日）

時間：　11:00 〜 19:00

会場：　ALCOVA　SPAZIO 1（880㎡）

VIA POPOLI UNITI 11/13 MILANO ITAL

プレスプレビュー：2019 年 4 月 8 日（月） 9:30~17:30

主催：　株式会社ニトムズ

クリエイティブディレクション：SPREAD

Press Contact　デイリープレス　川村美帆　東京都目黒区青葉台 3-5-33　mihokawamura@dailypress.org　tel.03-6416-3201